

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 2 年 7 月 14 日現在

機関番号：34311

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K18219

研究課題名（和文）近代化遺産の文化的景観としての価値評価に関する研究

研究課題名（英文）A Study on the Evaluation of Modernization Heritage as a Cultural Landscape

研究代表者

麻生 美希 (Aso, Miki)

同志社女子大学・生活科学部・准教授

研究者番号：00649733

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,400,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究では、文化的景観の枠組みを用い、近代化遺産を地域内で面的に評価することを試みた。福岡市箱崎の事例では、大学などの施設は立地する地域の歴史的な重層性の一要素ではあるものの、その施設を核とした文化的景観として評価することは難しいこと、一方で北海道美瑛町の事例では、近代開拓由来の土地区画や合理的な土地利用、開拓プロセスが現れた地域として全町規模で文化的景観として評価できることが明らかとなった。また、白川村荻町の事例では、伝統的な集落景観において、近代化によって失われた要素と近代化を経て失われなかった要素を明らかにし、近代化の影響を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近代化遺産は建築物や土木工作物単体で価値を見出されることが多いが、文化的景観の分析手法を用い、地域のアイデンティティとなるような面的な広がりをもった評価を具体的な事例で行ったことに学術的な意義がある。対象事例はわずかだが、実際に評価が可能な事例と難しい事例とがあることが明らかとなった。また、文化的景観の変容に关する研究は多く見られるが、景観構成要素ごとに詳細に変容を追うだけでなく、その要因についても分析したことに研究としての新規性があり、近代化の景観への影響を詳細に明らかにすることができた。

研究成果の概要（英文）：This study attempted to evaluate the modernization heritage within a region using a cultural landscape framework. In the case of Hakozaki in Fukuoka City, the university facilities are an element of the area's historical multi-layeredness. However, it is difficult to evaluate as a cultural landscape with the facility at its core. On the other hand, in the case of Biei in Hokkaido, modern land plots, rational land use, and farmland development have spread over a wide area. Therefore, the entire town can be evaluated as a cultural landscape. In the case of Ogimachi in Shirakawa Village, the impact of modernization on traditional village scapes was identified by analyzing the elements lost to modernization and those not lost through modernization.

研究分野：都市計画

キーワード：近代化遺産 文化的景観

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

近年、近代化遺産の評価の機運が高まっている。近代化遺産とは、「幕末から第2次世界大戦期までの間に建設され、我が国の近代化に貢献した産業・交通・土木に係る建造物」(文化庁による定義)であり、1993年から重要文化財の一類型となった他にも、近代化遺産の活用を促すために経済産業省による「近代化産業遺産」の公表が行われている。世界遺産も、中世や近世の歴史に由来する文化財が大半を占めていたが、「富岡製糸場と絹産業遺産群」(2014年登録)や「明治日本の産業革命遺産」(2015年登録)など、明治以降の日本の近代化の証拠となる文化財が登録の対象となっている。しかし、評価が進む一方で、近代化遺産の活用は課題を残す。近代化遺産は、工場、鉱山やそれに付帯する施設、ダムや発電所、橋梁などがあげられるが、それらの遺産は国や自治体、企業の所有物である場合が多い。また「明治日本の産業革命遺産」を例にとると、八幡製鐵所などのように現役で稼働している構成資産もあれば、端島(軍艦島)のように廃墟化しているものもある。どちらもそれらの遺産がある自治体やそこに暮らす住民が簡単に活用に関与することの難しさの要因となっている。また、その価値についても、あまり広く共有されているとは言えず、専門家や一部の愛好家が理解するに止まっているのではないだろうか。それは、それぞれの近代化遺産が単体の建造物としてのみ評価される傾向にあるからだと考える。それぞれの近代化遺産により、地域には様々な変化がもたらされたはずで、近代化遺産と地域とは連続性を持っているにも関わらず、遺産のみが評価されることで、その地域に暮らす住民から遠い存在になっている。筆者は、福岡市とその近郊を対象に、海水浴場という明治以降に展開されたレクリエーションの場と、海浜という良好な環境を生かすための施設や設備が整備された近代海浜リゾートについて研究を行ってきた。この研究の中で、福岡市の海水浴場の発展や海浜リゾートの成立には、炭鉱というまさに近代化を押し進めた産業が影響を与えていたことが明らかとなっている。つまり、炭鉱を、物理的に立地する場所や建造物としてだけでなく、広く周辺自治体のまちづくりに影響を与えた存在として総合的に評価することができれば、より身近にその価値を享受することができる。

総合的に評価する枠組みとしては、文化的景観の概念が有用であると考えられる。文化的景観は、建造物や土地利用などの目に見えるものと、その背景にある人の営みなどの無形のものとの総合的に評価する。ある地域の個性を有形・無形の両側面からあぶり出し、その地域らしさの根幹となり、まちづくりに広く生かすことのできる可能性を明らかにすることができる。

2. 研究の目的

本研究にて明らかにするのは、以下の2点である。

- (1)近代化遺産の文化的景観としての価値評価の可能性：単体として評価されがちな近代化遺産を核にして、その遺産の影響が及ぶ範囲を一体とした文化的景観として評価する可能性を探る。
- (2)文化的景観の中での近代化の評価：文化的景観として評価できる地域において、近代的な建造物の整備や土地利用が面的にどのように展開され、近代化以前の景観の価値と融合しているのか、また問題を生み出しているのかを明らかにする。

3. 研究の方法

以下の文化的景観の価値評価および景観特性の分析 a) 自然調査、b) 歴史調査、c) 生業調査、d) 生活文化調査、e) 景観認知調査、f) 土地利用の変遷分析、g) 景観構造分析、h) 景観構成要素分析を参考にし、取り上げる事例によって異なるが b) ,c) ,d) ,e) ,f) ,g) ,h) を行った。

研究対象地は、研究目的の(1)については、ダムや発電施設、橋梁が近代化遺産として評価できる岐阜県白川村、九州大学が近代化遺産として評価できる福岡県福岡市としたが、近代開拓による農業景観が近代化遺産として評価可能な北海道美瑛町を加えた。研究目的の(2)については、アイヌ文化と近代開拓により文化的景観がかたちづけられている北海道平取町、中世から現在まで繁栄を続ける歴史都市である京都府京都市として調査を実施したが、一定程度の調査蓄積のある岐阜県白川村を中心に分析を行った。

4. 研究成果

- (1) 近代化遺産の文化的景観としての価値評価の可能性

①福岡市箱崎

箱崎における九州大学という近代化遺産の位置づけや影響について明らかにするために、b) 歴史調査、e) 景観認知調査、f) 土地利用の変遷分析を行い、歴史的・空間的な変遷とイメージの変化を明らかにした。

前者については、箱崎宮の「門前町」および唐津街道沿いの「宿駅」として古くから栄え、海岸に近いエリアについては「漁師町」、東側には「農村」が形成されていた。この箱崎村が近代に入ると糟屋郡役所が設置(明治11年)され、糟屋郡の中で唯一の町(行政・経済の中心地)に変化を遂げていく。明治中期以降、九州鉄道・博多湾鉄道・福博電気軌道などの鉄道や、新しい道路が敷設されるなどの変化を遂げていくが、東側の広大な畑地に九州帝国大学の設置(明治44年)されることにより「農村」の特性は大きく失われる。また、白砂青松の風光明媚な海岸を生かして箱崎水族館・抱洋閣も整備され、箱崎が「文教エリア」としての性格を強めていくことになる。非常に興味深いのは、廃業した元漁師が学生の下宿を受け入れ、「漁師町」が大学町と

して発展したということである。

後者については、メディアにより見出され拡散される外的なイメージと住民が有する内的なイメージの両者について調査分析を行った。前者については、福岡市のタウン情報誌である『シティ情報ふくおか』を対象とし、1976年の創刊から2019年1月号までの箱崎の取り上げられ方を追った。箱崎は、「管崎宮と九大の町」、「大学周辺の学生さん、網屋の漁師さん、管崎宮近辺の氏子さんがクロスオーバーされた雑居 TOWN 箱崎!」といった神社と大学という2つのシンボルがある町として多々紹介されている。しかし、1970年代から2001年までは学生向けのキャンパスライフを充実させるリーズナブルな食堂、喫茶店、本屋などの情報が多く掲載されていたが、近年は大学というキーワードはなくなり、学生街のイメージが非常に薄くなっている。「管崎宮と九大の町」として紹介されていたエリア（大学通りとふれあい通りに挟まれたエリア）の店舗経営者および住民にインタビューを行って明らかにした内的なイメージについてもそれを裏付ける結果となっている。箱崎らしさを表す空間が管崎宮と商店街に集約され、九州大学がほぼ登場しない。箱崎に対するイメージについても、学生の減少については触れられているものの、それを惜しむ声はみられず、学生街というイメージは無い。

以上のことから、東の「農村」に替わるシンボルとして「九州大学」が誕生し、他の施設もあわせて箱崎に「文教エリア」という特性を付与したことが明らかになった。それに伴い、既存の「漁師町」・「門前町」・「宿駅」として形成された住宅地や商業地が「学生街」としても認識されるようになった。しかし、学生の存在により「大学」が箱崎というまちに少なからず影響を与えたことは事実であるが、大学キャンパスが、それまでに形成されていた歴史的な空間に埋め込まれたという傾向が強い。ある時期には町の一つのシンボルとなるなど、箱崎の歴史的な重層性を理解するための一つのレイヤー・要素として大学は重要な要素であるものの、大学を価値の核として箱崎の町を文化的景観として評価することは難しい。

②北海道美瑛町

美瑛町の農業景観を文化的景観として評価するために、b) 歴史調査、c) 生業調査、d) 生活文化調査、f) 土地利用の変遷、g) 景観構造、h) 景観構成要素など多角的に調査分析を行った。

森林や原野であった土地が開拓地として指定され、明治27年に旭地区に開拓者が入って以降、農家自らが住まいを建て、木を切り倒して抜根し、少しずつ農地として耕し、戦後まで本州各地からの多くの人々を受け入れながら発展していった。畑では、麦・豆・ビート（甜菜）・ジャガイモが輪作され、トマト、アスパラガス、トウモロコシなどの野菜も生産されている。生業や生活文化と景観との関係性についてはフェノロジーカレンダーの作成を通じて明らかにすることができた。

美瑛町は、十勝岳の噴火と河川により侵食された丘と沢が連続する波状丘陵という独特の地形をもつ。水が湧出しやすい沢に農家が分布し、引水できる平らな場所は水田、緩傾斜は畑となっていることが個々の農家の営みと地目図から分析できる（図1・図2参照）。そして、農地として利用することが難しい急傾斜地に樹林が広がっている。この合理的な土地利用のもと成り立つ農業景観は、丘に畑が広がり、丘と丘の間の傾斜地に分布する樹林地が畑を縁取り、沢の合間から農家の建物や屋根が控え目に見えるものが典型である。

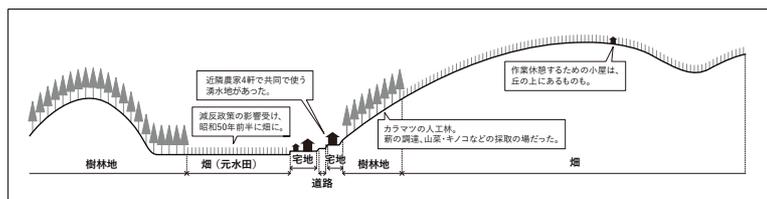


図1 美瑛町の景観構造図（地形と土地利用の関係を強調するため高さは4倍に加工）

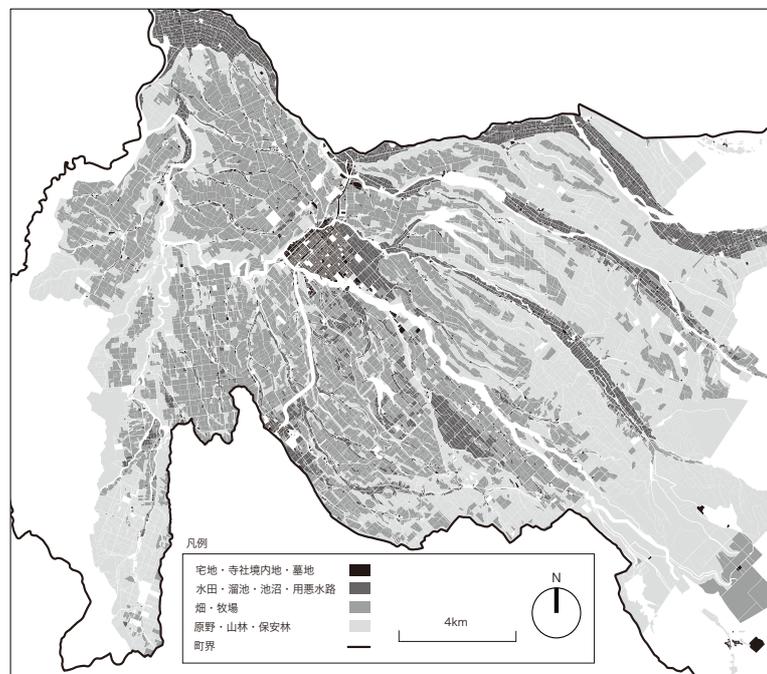


図2 地目図

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 1件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 麻生美希	4. 巻 52
2. 論文標題 リビングヘリテージとしての生活景の保全に関する研究：岐阜県白川村荻町を対象として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 同志社女子大学 生活科学	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 麻生美希、村上佳代、真板昭夫
2. 発表標題 文化的景観の価値の把握と共有におけるフェノロジーカレンダーの有用性 北海道美瑛町を対象として
3. 学会等名 奈良文化財研究所 文化的景観研究集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 麻生美希
2. 発表標題 北海道美瑛町における農業景観のマネジメント
3. 学会等名 日本建築学会大会都市計画部門研究懇談会「生きた景観マネジメントの実践」
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	金 迪 (JIN Di)		